

鑑賞の授業を受ける前に

～どんなワークシートの書き方をすればよいのか～

☆ 授業で学ぶのは「クラシック」と呼ばれる音楽が多いです。では、以下の人物から一人選び、実際に聴いてみましょう。

J.S.バッハ／ヘンデル／ハイドン／モーツァルト／ベートーヴェン
シューベルト／ショパン／リスト／ヴェルディ／メンデルスゾーン
ワーグナー／スメタナ／J.シュトラウス／ブラームス／サン＝サーンス
ビゼー／ムソルグスキー／チャイコフスキー／ドボルザーク／プッチーニ
エルガー／マーラー／ドビュッシー／R.シュトラウス／シベリウス／ホルスト
シェーンベルク／ストラヴィンスキー／バルトーク／プロコフィエフ 等

☆ CDを持っていませんという人は、以下の番組を見たり、聴いたりしましょう。

テレビ→	「クラシック音楽館」	Eテレ	毎週日曜 21:00-23:00
	「ら・ら・ら クラシック」	Eテレ	毎週金曜 21:00 再放送木曜 10:25
	「題名のない音楽会」	テレビ朝日	毎週土曜 10:00-
ラジオ→	「ベスト・オブ・クラシック」	NHKFM	毎週月～金 19:30-21:10
	「オペラ・ファンタスティカ」	NHKFM	毎週金曜 14:00-18:00
	「N響・ザ・レジェンド」	NHKFM	毎週土曜 19:20-21:00
	「クラシックカフェ」	NHKFM	毎週月～木 14:00-15:55 再放送火～金 7:25～

インターネット

※ 良い演奏では無い場合があるので、YOUTUBEで聴く際は演奏団体に注意しましょう。

☆ 作曲者についてどうやって調べたらよいのか。

CDの解説等に載っていることもあります。現在はインターネットで調べるのが一番です。時期が来たら、図書館でも調べてみましょう。

☆ 最後に・・・

その曲をちゃんと聴いたということが伝わる感想を書きましょう。インターネット上の引用ではなく、自分の言葉で表します。現在までの音楽体験によって、その音楽を「快」「不快」と感じるには個人差があります。「不快」だと書いたら間違えだと思いがいますが、そうではありません。どちらにも感じる事ができるのが音楽なので、その際には「なぜそう感じたか」を述べるようにしましょう。

例) バッハ「トッカータとフーガ」

ずっと同じ繰り返ししていくような気分になり、終わるところがわからなくなるため、苦手である。しかし、一つの楽器で音色がたくさんに出ることはすごいし、楽器自体の音はきれいなので好きである。

では実際に自分が聴いた音楽について以下のようにまとめてみましょう。

曲名	年 組 氏名
----	-----------

① 作曲家について

どの国の人か。

活躍した時代はいつか。

→ 何年に生まれ、何年に亡くなったか。

→ その時代の音楽の特徴はどのようなものか。

② 楽曲について

その曲のジャンルは何か。(交響曲、協奏曲など)

どのような編成で演奏される曲か。(オーケストラ、ヴァイオリンとピアノなど)

何拍子の曲か。

いくつの楽章でできているか。

→ それぞれの楽章はどのような印象か。

曲の中心となる特徴的なリズムや旋律はどのようなものか。

→ そのリズムやメロディがどのようにあられ、どのように形を変えていくか。また、そのことによって、曲の印象がどのように変わっていくか。

曲を聴いて、好き、嫌いも含めて感想をまとめよう。

☆ これで、鑑賞の授業を受ける準備はできました。それぞれの意見を持ち寄り、新たな発見をし、様々な見方や考え方に気づくために実際の授業があります。みんなで鑑賞し、批評しあう活動をしていきましょう。